

科目名 (英)	生活支援技術C (Life Support Skills C)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	介護福祉士科					曜日・時限	金曜、1時限目

【授業の学習内容】

尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。生活支援の専門職である介護福祉士は、利用者の介護を行なう際には、自立に向けた支援を行うことを目標とすることを学び、その具体的支援技術を学ぶ必要がある。そのため具体的内容として、介護福祉を中心とした家庭生活の基本的概論について習得し、管理・運営する能力について理解できるようになる。

※実務者経験：福祉施設、医療機関等に所属していた。主業務は集団給食業務、栄養指導を担当していた。※資格：管理栄養士

【到達目標】

生活支援の専門職である介護福祉士は、利用者の介護を行なう際には、自立に向けた支援を行うことを目標とすることを学び、その具体的支援技術を学ぶ必要がある。そのため具体的な到達目標として、「家庭生活の意義と機能、経営と管理」、「住居と役割と機能、快適な室内環境」、「住居の管理と安全」についての知識を習得し、管理・運営する能力について理解ができるようになる。

授業計画・内容

1回目	「生活支援①」…人の生活を理解し支援するための、援助者としての視点が理解できる。
2回目	「生活支援②」…生活支援における福祉用具の活用と、介護予防の視点について理解できる。
3回目	「住居環境の整備①」…住居環境の整備について理解できる。
4回目	「住居環境の整備②」…生活空間と介護について理解できる。
5回目	「住居環境の整備③」…安心して心地よい生活の場を作るための工夫・留意点について理解できる。
6回目	「住居環境の整備④」…安心して心地よい生活の場を作るための工夫・留意点について理解できる。
7回目	「家庭生活に関わる基本知識①」…家庭生活の営み、生活設計の考え方について理解できる。
8回目	「家庭生活に関わる基本知識②」…室内の環境整備について理解できる。
9回目	「家庭生活に関わる基本知識③」…食生活の基本知識について理解できる。
10回目	「家庭生活に関わる基本知識④」…被服生活の基本知識について理解できる。
11回目	「家事の介護①」…家事の支援の意義と目的について理解できる。
12回目	「家事の介護②」…家事支援(調理・買い物)の基本知識と介助の留意点について理解できる。
13回目	「家事の介護③」…家事支援(洗濯・掃除・ごみ捨て)の基本知識と介助の留意点について理解できる。
14回目	「家事の介護④」…家事支援(裁縫・衣類・寝具の衛生管理・家庭経営・家計の管理)の技術について理解できる。
15回目	「家事の介護⑤」…多職種との役割と協働・連携について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：新・介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」（中央法規出版）